

# 障害者に優しい旅行を

## 草津の就労施設が支援

草津市草津2丁目の障害者就労施設「アイ・コラボレーション」が、障害者や高齢者が参加しやすい旅行「ユニバーサルツーリズム」の支援を目指している。県内の観光施設のバリアフリー状況を調査し、将来的に相談窓口の開設や、事業者向けの研修会を見据えている。「障害者の旅行を支えることで、滋賀の観光を盛り上げたい」としている。



フェイスブックで滋賀の観光情報を発信する、アイ・コラボレーションの片山さん(草津市草津2丁目)

## 観光施設のバリアフリー調査 相談窓口開設目指す

アイ・コラボレーションは、障害者がホームページや印刷物の作成を手掛けている。障害者の旅行は、施設を利用できるか情報が入手しにくかったり、介助者の交通費や宿泊費が負担になったりと課題が多い。

神戸市の「神戸ユニバーサルツーリズムセンター」を知り、滋賀でも障害者の旅行を支援する拠点づくりを進めようと、2年前から活動を開始した。

草津市の観光施設のバリアフリー状況を調査したり、フェイスブックで「滋賀ユニバーサルツーリズムセンター準備室」のページを立ち上げ、観光情報を掲載したりしている。神戸市のセンターとも協力して、アドバイスをもらっている。

将来的には、介助者の手配や宿泊、移送の仲介など、幅広い相談に対応できる窓口の開設を目標に掲げる。現在は、観光客に対して車いすの無料貸し出しを検討している。

自らも車いす生活の片山雅崇さん(42)は「予算的な問題もあり、まだまだこれから。いろんな人に取り組みを知ってもらい、協力してもらえようように頑張りたい」と意気込む。(山下悟)